

# 鳥取県下市町村に見る地域特性と廃棄物施策のごみ排出特性への影響について

開発情報工学研究室 河野嘉範

## 1. 背景と目的

現在、土地の不足、焼却炉などの中間処理施設や最終処分場の不足、廃棄物処理に伴い発生するダイオキシン等の対策や不法投棄の問題、また大量の廃棄物を処理するために多くの時間と経費をかけなければならない状況にある。このように様々なごみ問題が深刻化している中、従来型の「大量生産／消費／廃棄」という社会システムを見直し、資源・エネルギーの浪費を可能な限り省き、必要なものに関しては有効利用を施していく「循環型社会」への転換が求められている。ごみの消費・廃棄の中心的な担い手は一般家庭であり、そこから排出される家庭ごみの減量化は廃棄物の問題解決の最も有効な手段の一つと考えられている。

そこで、本研究では、鳥取県下市町村を対象に一般家庭のごみ排出特性を明らかにし、各市町村におけるごみ排出特性の違いに、廃棄物施策や地域特性が影響しているのか、分析を行う。そうすることで、ごみ排出要因を明らかにすることが、今後のごみ処理政策の立案のために、大きな意義があると考えられる。

## 2. 研究方法

地域特性と廃棄物施策のごみ排出特性への影響を検討するにあたって、検討するまでの手順を図1に示す。

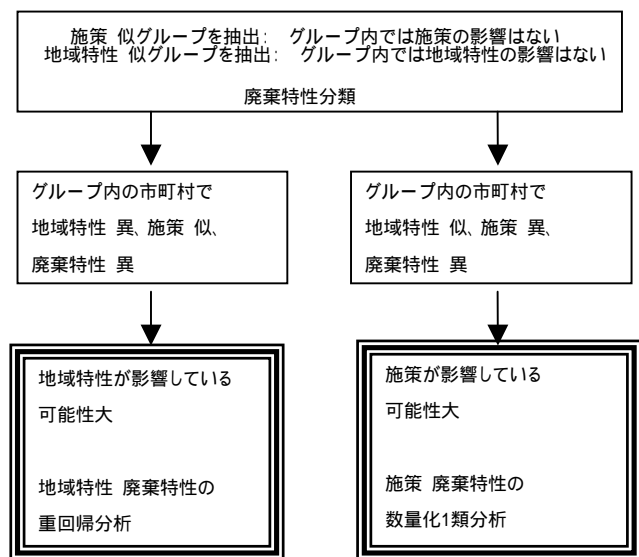


図1 ごみ排出特性への影響分析手順

図1より、廃棄物施策の似たグループ内では、廃棄物施策のごみ排出特性への影響はなく、そのグループ内でごみ排出特性が異なり、地域特性も異なる市町村を集めると、それらは、地域特性のごみ排出特性への影響が考えられる。

一方、地域特性の似たグループ内では、地域特性のごみ排出特性への影響がなく、そのグループ内で、ごみ排出特性が異なり、廃棄物施策も異なる市町村を集めると、それらは、廃棄物施策のごみ排出特性への影響が考えられる。

## 3. 地域特性と廃棄物施策影響の検討

図1により抽出された市町村を対象に分析を行った。その結果の一例を、図2、図3に示す。

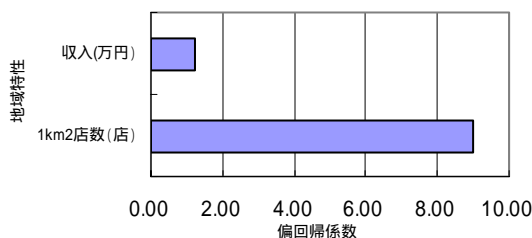


図2 重回帰式

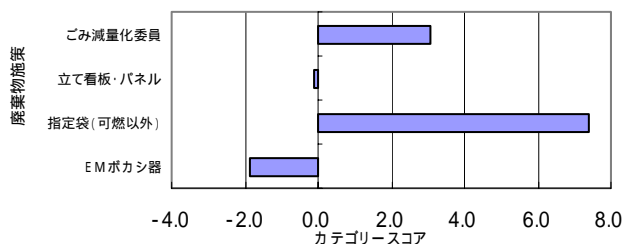


図3 カテゴリースコア

分析を行った結果、地域特性影響分析では、ごみ排出特性に影響が有ると考えられる地域特性を説明変数に、可燃ごみ排出量を目的変数に重回帰分析を行ったところ、可住地1km<sup>2</sup>当たりの店数、一世帯当たりの収入が増えるほど、可燃ごみ排出量(kg/年・人)が増加する結果となった。

廃棄物施策の影響分析では、8つの廃棄物施策を導入している・していないを質的データに、プラスチックごみ排出量を目的変数に数量化1類分析を行ったところ、可燃ごみ以外のごみに対する指定袋を利用している場合と、ごみ減量化委員会を設置している場合は、プラスチックごみ排出量(kg/人・年)が増加する結果となった。

## 4. まとめ

本研究では、地域特性と廃棄物施策によるごみ排出特性への影響を検討した。分析対象や分析で用いた目的変数を変えて分析を行うと、また違う結果になるかもしれない。また、ごみ排出特性に影響するのは、地域特性や廃棄物施策以外の要因かもしれないので、そのような要因も含めた、ごみ排出特性への影響も検討していかなければならない。